

— 優秀演題賞に関する規程 —

【優秀演題賞の設定】

本会に優秀演題賞を設定する。設定の目的は、小児呼吸器学研究の推進と学術集会の支援である。優秀演題賞には、全会員を対象とする『優秀演題賞』（以下A賞）と、コ・メディカル会員を対象とする『優秀演題賞（コ・メディカル部門）』（以下B賞）とがある。

【対象と選考方法】

対象は当該年度に正会員で、当該年度の学術集会において期限内に応募し発表した一般演題の筆頭者とする。選考は一次選考と二次選考からなり、A賞・B賞ともに原則として1人ずつ選出する。コ・メディカル会員がA賞を受賞した場合にはB賞を選出しない。

【事務局】

- ① 学術委員会の中に設置する。
- ② 構成人数は3-4人とし、代表者は学術委員長とする。
- ③ 主たる任務は、一次選考と二次選考の委員を選定すること、一次選考を運営すること、二次選考を支援することである。

【一次選考の概要】

- ① 一次選考は予め選定された委員によって行われる。
- ② 事務局は、氏名・所属を削除した演題抄録を委員に送付する。この際、1演題は5人の委員によって審査されるよう配分する。
- ③ 委員は、設定された期間内に抄録を審査し、ランク付けを行って事務局に回答する。
- ④ 事務局は、委員からの審査結果を集計し、全抄録の上位5題（A賞候補）とコ・メディカル部門の上位2題（B賞候補）を選出する。
- ⑤ 事務局は、上記の結果を年度学会事務局に伝え、学術集会初日にA賞候補による『A賞選考セッション』を設定するよう依頼する。

【二次選考の概要】

- ① 二次選考は予め選定された委員によって行われる。代表者は年度学会長とする。
- ② A賞は、委員が『A賞選考セッション』でA賞候補の発表を聞き、その後に協議して決定される。
- ③ B賞は、委員が学術集会前に連絡を取り合い、B賞候補を審査して決定される。事務局はB賞の受賞者に連絡し、表彰式への参加を要請する。

【表彰】

二次選考委員長である年度学会長が、懇親会でA賞・B賞を発表し、運営委員長が表彰する。同時に副賞として記念品を授与する。

選考方法の詳細

【選考委員の選定】

- ① 一次選考・二次選考を担当する委員は、本会の役員（運営委員・顧問・監事・地区委員）および学術委員の中から事務局によって選定される。
- ② 選考委員は年度ごとに変更される（連続もある）。
- ③ 一次選考委員の人数は下記の方法で決定される。その過半数は運営委員とする。
- ④ 二次選考委員は、年度学会長（委員長）1人、原則として一次選考と重複しない運営委員2人と運営委員以外の2人の計5人で構成される。二次選考委員の中に一次選考で選出された演題と関係の深い委員が含まれた場合には、事務局は二次選考の前に委員を変更することができる。

【一次選考の手順】

- ① 一次選考は学術集会プログラムの作成を考慮し、約4週間で終了することを目標とする（演題の仕分け・発送に1週間、一次選考に2週間、結果の集計・報告に1週間）。
- ② そのため、事務局は一次選考委員の候補者である運営委員・顧問・監事・地区委員・学術委員から、事前に委員就任の承諾を書面で取っておく（別紙の依頼状参照）。
- ③ 1人の委員は36~40演題を審査する。1演題は5人の委員で審査される。
- ④ この原則に則り、委員の人数は演題数によって決定される。

応募が80題では、5倍して400題。これを40で割れば10人の委員が必要。 したがって各委員は40題を審査。

81題では405題で、11人（9人が37題、2人が36題）

82題では410題で、11人（3人が38題、8人が37題）

83題では415題で、11人（8人が38題、3人が37題）

89題では445題で、12人（1人が38題、11人が37題）

97題では485題で、13人（4人が38題、9人が37題）

- ⑤ 事務局は、年度学会事務局から受領した一般演題を、氏名・所属を削除した形式にして、委員にメールで送付する（1週間以内）。
- ⑥ この際、委員が自分と関係の深い施設からの抄録を審査しないよう配慮する。実際の選別は事務局に一任する。
- ⑦ 委員は別項に記す方法で審査し、その結果を期限内に事務局にメールで返信する（2週間以内に終了するよう期限を設定しておく）。
- ⑧ 事務局は委員からの審査結果を回収し、得点を集計して上位5題（A賞候補）とコメディカル部門の上位2題（B賞候補）を決める（得点方法については別項）。
- ⑨ 事務局は上記の結果を二次選考委員と年度学会事務局に伝え、A賞については学術集会初日にA賞候補による『A賞選考セッション』を設定するよう依頼する。B賞についてはただちに委員間で協議できるよう手配する。

【一次選考の審査方法】

- ① 各委員は審査した 36-40 の演題を次の 4 段階に分けて判定する。ただし、その配分（括弧内）を遵守する。
A：優秀（10%）、B：やや優秀（20-25%）、C：ふつう（50%）、D：やや劣る（15-20%）

36-40 題を 4 段階に分けると、A 4 題、B 8-10 題、C 18-20 題、D 6-8 題

- ② 判定基準は委員に一任する。研究発表、症例発表ともに小児呼吸器学での重要性、寄与性、独創性などを検討する（チェックリストを参照）。
- ③ 委員は審査結果のみを事務局にメールで伝える。
- ④ 事務局は演題ごとに 5 人の審査結果が届いていることを確認し、結果を得点に変換する。このとき、A を 4 点、B を 2 点、C を 1 点、D を 0 点とし、5 人分を合計する。
- ⑤ 事務局は、二次選考への参加意思が確認され、優秀演題賞を受賞した場合には学会誌への投稿義務があることに同意が得られたものの中から、A 賞部門では合計得点の上位 5 題を、B 賞部門では上位 2 題を決定する。
- ⑥ 同点が複数ある場合には、5 人の分散が小さいものを上位とする。たとえば合計 6 点では (2,1,1,1,1)、(2,2,1,1,0)、(2,2,2,0,0)、(4,1,1,0,0)、(4,2,0,0,0) の順になる。それでも上位を決定できない場合には、決定を事務局の代表者に一任する。

【A 賞の二次選考】

- ① 二次選考委員は、学術集会初日に行われる『A 賞選考セッション』での口演と質疑応答をすべて聞く。質問してもよい。
- ② 発表終了後、委員 5 人で協議し、A 賞を決定する。
- ③ A 賞は原則として 1 題とする。やむを得ず 2 題あるいは該当なしになることもある。

【B 賞の二次選考】

- ① 二次選考委員は、事務局から提示された上位 2 題について、ただちにメールなどで協議し、B 賞を決定する。ただし、2 題とも A 賞候補になっている場合には、B 賞は『A 賞選考セッション』後に決定される。
- ② B 賞は原則として 1 題とする。該当なしのこともある。
- ③ B 賞候補が A 賞候補にも入っている場合には、『A 賞選考セッション』で口演する。もし B 賞候補が A 賞に選出された場合には、B 賞は該当なしとする。
- ④ 二次選考委員長は B 賞の結果を事務局に連絡する。事務局は受賞者に連絡し、表彰式への参加を要請する。

【論文投稿】受賞演題は日本小児呼吸器学会雑誌への投稿を必須とする。ただし、二重投稿の問題から、英文投稿を予定している場合などでは、他誌への投稿も可とするような柔軟な対応を考慮する。筆者（著者）は、論文を他誌へ投稿して accept された場合には、その旨を事務局に報告する。本学会は筆者からの要請があれば、学会誌に和文投稿掲載しても、英文投稿を許諾したことの certificate を発行し、投稿に協力する。